

エコアクション21

環境経営レポート

令和5年度版

運用期間：令和5年8月～令和6年7月



株式会社千葉工務店

令和6年12月21日作成

環境経営方針

（環境理念）

株式会社 千葉工務店は、建築工事並びに設計または事務・営業活動全般において、環境への影響を考え、地球環境への負荷の少ない設計であり工事管理であり事務・営業活動である事を目指します。

（行動指針）

環境経営システムを構築・運用し、環境関連法規等を遵守するとともに、環境経営の継続的改善を推進していくために、以下の事項に重点的に取り組みます。

- 1、二酸化炭素排出削減に取り組みます。
- 2、産業廃棄物のリサイクル化を推進します。
- 3、水使用量の削減に取り組みます。
- 4、環境に配慮した設計を実施します。
- 5、環境に配慮した施工を実施します。
- 6、建設現場での騒音対策、振動対策、省エネ対策等に関する最新技術の導入に取り組むことにより、環境保全に努めます。
- 7、事業活動に関する環境関連法規等を遵守します。
- 8、環境方針について社内に周知し、全員で取り組みます。

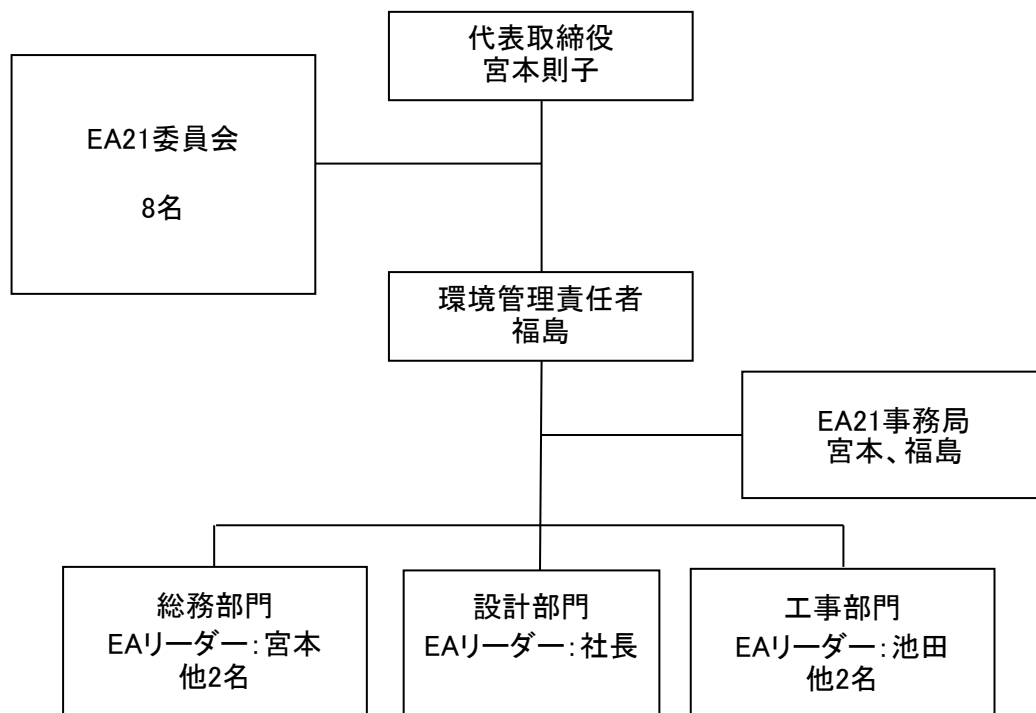
株式会社千葉工務店

代表取締役 宮本 則子

平成26年7月26日制定

令和元年8月1日改定

EA21実施体制



役割分担表

氏名	所属(役職)	役割・責任・権限・使命
宮本則子	代表者 (代表取締役)	全体の統括、環境方針の設定、全体の評価と見直し
福島	環境管理責任者	全体の把握／環境経営システムを構築し、運用し、その状況を代表者に報告する
	EA21委員会	月2回程度開催し、環境目標の達成状況及び活動計画の実行状況を審議する
	EA21事務局	EA21文書及び記録類の作成・維持・管理
宮本	総務部門	EA21委員会及び環境管理責任者に必要な情報を提供するとともに、委員会の決定事項等を社内に周知し、EA21を着実に実施する。
社長	設計部門	設計部門におけるEA21の遂行を統括する。
池田	工事部門	工事部門におけるEA21の遂行を統括する。
EAリーダー	各部門	・各部門におけるEA21の遂行管理にあたる。 ・各部門における環境教育を担当する。

1.事業概要

1) 事業者名及び

代表者

株式会社 千葉工務店

代表取締役 宮本 則子

2) 法人設立年月日

1971年1月8日

3) 所在地

〒806-0047

北九州市八幡西区鷹の巣一丁目1番22号

4) 環境管理責任者

及び事務局

環境管理責任者 福島 知佳

EA-21事務局 宮本 亘

5) 連絡先

連絡担当者 福島 知佳

TEL : 093-621-4152

FAX : 093-621-4154

E-mail fukushima@kitakyushu.casa

6) 事業規模

資本金 49百万円

従業員 11名

売上高 732百万円 (2023年度)

床面積 1444㎡

敷地面積 1422㎡

7) 事業活動の内容

建設工事業 土木工事業 一級建築士事務所

8) 登録・認証範囲

全組織・全活動・全従業員

2. 当年度及び中期の環境経営目標

	単位	R2～R4年度 実績平均※ (基準年度)	目 標		
			R5年度	R6年度	R7年度
(事務所)					
二酸化炭素排出量削減	Kg-CO ₂	16,724	16,557 -1%	16,390 -2%	16,222 -3%
一般廃棄物排出量の削減	kg	198	196 -1%	194 -2%	192 -3%
水使用量の削減	m ³	50	50 -1%	49 -2%	49 -3%

(現場)					
二酸化炭素排出量削減	Kg-CO ₂	6,699	6,632 -1%	6,565 -2%	6,498 -3%
産業廃棄物排出量の削減	kg	300,000	297,000 -1%	294,000 -2%	291,000 -3%
産業廃棄物のリサイクル率向上	%	94.0	94.9 1%	95.9 2%	96.8 3%
水使用量の削減	m ³		節水	節水	節水
安全作業の実施 (報連相・5S活動の実施)	%	100	100	100	100
環境に配慮した設計の実施 (率)	%	100.0	100.0	100.0	100.0
環境に配慮した施工の実施 (率)	%	100.0	100.0	100.0	100.0

※電力の実排出係数は九電の令和4年度の0.462kg-CO₂/kWhを用いた。

※現場のガソリン・軽油は事務所の二酸化炭素に含まれる。

※R2～R4年度平均に、来年以降の受注工事の見通しを加味して作成した。

※工事内容により水使用量に大きな差異が生じる為、現場の水使用量の目標設定は行わず、取組目標とする。

※化学物質の取り扱いはない。

3.当年度の主要な環境経営計画の内容

(事務所)

1. 二酸化炭素総排出量の削減

取組目標		活動項目	責任者	活動計画			
				8～10月	11～1月	2～4月	5～7月
1	電力使用量の削減	1 エアコンの設定温度を決め、実行する	宮本	実行	実行	実行	実行
		2 無人室の消灯	宮本	実行	実行	実行	実行
		3 不要な残業を無くす	宮本	実行	実行	実行	実行
2	ガソリン使用量の削減	省エネ運転の励行及び定期的なメンテナンス	宮本	実行	実行	実行	実行
3	軽油使用量の削減	省エネ運転の励行及び定期的なメンテナンス	宮本	実行	実行	実行	実行

2. 一般廃棄物排出量の削減

取組目標		活動項目	責任者	活動計画			
				8～10月	11～1月	2～4月	5～7月
一般廃棄物排出量の削減	1	印刷物の削減及び裏紙利用の推進	福島	実行	実行	実行	実行
	2	分別回収の推進	福島	実行	実行	実行	実行

3. 水使用量の削減

取組目標		活動項目	責任者	活動計画			
				8～10月	11～1月	2～4月	5～7月
節水活動		水を出しっぱなしにしない	福島	実行	実行	実行	実行

(現場)

4. 二酸化炭素総排出量の削減

取組目標		活動項目	責任者	活動計画			
				8～10月	11～1月	2～4月	5～7月
1	電力使用量の削減	1 エアコンの設定温度を決め、実行する	池田	実行	実行	実行	実行
		2 無人室の消灯	池田	実行	実行	実行	実行
		3 不要電力消費抑制	池田	実行	実行	実行	実行

5. 産業廃棄物排出量の削減

取組目標		活動項目	責任者	活動計画			
				8～10月	11～1月	2～4月	5～7月
発注管理の徹底	1	適正発注によるゴミの抑制	池田	実行	実行	実行	実行
	2	適性分別を行い、リサイクル化に努める	池田	実行	実行	実行	実行

6. 産業廃棄物のリサイクル率向上

取組目標		活動項目	責任者	活動計画			
				8～10月	11～1月	2～4月	5～7月
分類の徹底		産業廃棄物を種類毎に分類保管し、適切に処理・処分する	池田	実行	実行	実行	実行

7. 安全作業の実施

取組目標		活動項目	責任者	活動計画			
				8～10月	11～1月	2～4月	5～7月
報連相・5Sの徹底		報告・連絡・相談の徹底及び5S活動を推進する	池田	実行	実行	実行	実行

8. 環境に配慮した設計の実施

取組目標		活動項目	責任者	活動計画			
				8～10月	11～1月	2～4月	5～7月
環境配慮設計の提案		環境に配慮した設計を提案し、実施する	社長	実行	実行	実行	実行

9. 環境に配慮した施工の実施

取組目標		活動項目	責任者	活動計画			
				8～10月	11～1月	2～4月	5～7月
環境配慮施工の提案		環境に配慮した施工を提案し、実施する	池田	実行	実行	実行	実行

4. 環境経営活動の取組結果

事務所

	単位	R2～R4年度 実績平均 (基準年度)	R5年度目標	R5年度実績	目標 達成状況
①二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	16,724	16,557	14,466	○
①-1 電力使用量削減	kWh	7,600	7,525	7,610	×
①-2 ガソリン使用量削減	ℓ	4,791	4,741	3,708	○
①-3 軽油使用量削減	ℓ	800	792	901	×
②一般廃棄物排出量削減	kg	198	196	188	○
③水使用量削減	m ³	50	50	40	○

現場

	単位	R2～R4年度 実績平均 (基準年度)	R5年度目標	R5年度実績	目標 達成状況
④二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	6,699	6,632	9,237	×
④-1 電力使用量削減	kWh	14,000	14,355	19,993	×
⑤産業廃棄物総排出量削減	kg	300,000	297,000	145,595	○
⑥産業廃棄物のリサイクル率向上	%	94.0	94.9	95.1	○
⑦水使用量削減	m ³		節水	節水	○
⑧安全作業の実施 (報連相・5S活動の実施)	%	100	100	100	○
⑨環境に配慮した設計の実施 (率)	%	100	100	100	○
⑩環境に配慮した施工の実施 (率)	%	100	100	100	○

※ 電力の実排出係数は九電の令和4年度の0.462kg-CO₂/kWhを用いた。

※ 現場のガソリン・軽油は事務所の二酸化炭素に含まれる。

※ 工事内容により水使用量に大きな差異が生じる為、現場の水使用量の目標設定等はない。

※計算にはガソリン2.322kg-CO₂/L、軽油2.619kg-CO₂/Lを使用した。

※化学物質の取り扱いはない。

5. 環境経営活動の取組結果の評価及び今後の計画

【取組結果の評価】

(事務所)

1. 二酸化炭素排出量の削減

- ◆ 全体の二酸化炭素排出量削減目標は達成できているが、電力と軽油の目標は達成出来ていなかった。ガソリンは使用を抑えたことで目標を達成できた。今後は電力使用量を減らすように努める。

2. 一般廃棄物排出量の削減

- ◆ 資源ごみ、プラスチックごみ分別回収や文書の電子化、リユース・リサイクルなどを利用し、廃棄物排出量を大幅に削減することができた。

3. 水使用量の削減

- ◆ 事務所で工事などの大規模な水の使用が少なく、日々節水を徹底していることから、水の使用を大幅に削減することができた。

(現場)

4. 電力使用量の削減

- ◆ 大規模な改修工事が続き、特に工期の最後に電動工具を使用する作業が多くなった。また冷暖房の使用が一番増える期間中に集中工事があったため電力の使用量が増加した。

5. 産業廃棄物排出量の削減

- ◆ 大規模な改修工事や工場の撤去工事等があったものの、産業廃棄物の排出量は前年に比べ減少した。しかし廃棄物排出量は工事の内容によって大きく変動するため、今後も分別については的確に行い、下記リサイクル率の向上に寄与したい。

6. 産業廃棄物のリサイクル率向上

- ◆ 産業廃棄物の量自体は減少したものの、分別管理を徹底し廃掃法に基づいた処理・処分を行っている。またリサイクル率の目標は高いレベルで達成することができた。今後も適正な商品発注と適正分別を徹底し、排出量削減に努める。

7. 安全作業の実施

- ◆ 継続して朝礼や週一回の会議を利用した報連相の徹底、5Sの推進を実施している。今後も社員間のコミュニケーションを円滑にすると共に、協力業者とも積極的にコミュニケーションを図ることで、安全な作業に繋げていく。

8. 環境に配慮した設計の実施

- ◆ 毎回、設計する段階から環境に配慮し設計をしている。特に、新しい省エネ技術を採用した「菜のハウス」を建てたので、今後もその知見を活用していく。

9. 環境に配慮した施工の実施

- ◆ リサイクル材を使用するなど、毎回施工に配慮し、手戻りがなく無駄のない作業をしている。

【今後の計画(次年度の環境経営計画)】

(事務所)

1. 二酸化炭素総排出量の削減

取組目標		活動項目	責任者	活動計画			
				8～10月	11～1月	2～4月	5～7月
1	電力使用量の削減	1 エアコンの設定温度を決め、実行する	宮本	実行	実行	実行	実行
		2 無人室の消灯	宮本	実行	実行	実行	実行
		3 不要な残業を無くす	宮本	実行	実行	実行	実行
2	ガソリン使用量の削減	省エネ運転の励行及び定期的なメンテナンス	宮本	実行	実行	実行	実行
3	軽油使用量の削減	省エネ運転の励行及び定期的なメンテナンス	宮本	実行	実行	実行	実行

2. 一般廃棄物排出量の削減

取組目標		活動項目	責任者	活動計画			
				8～10月	11～1月	2～4月	5～7月
一般廃棄物排出量の削減		1 印刷物の削減及び裏紙利用の推進	福島	実行	実行	実行	実行
		2 紙資源・プラスチックの分別回収の推進	福島	実行	実行	実行	実行

3. 水使用量の削減

取組目標		活動項目	責任者	活動計画			
				8～10月	11～1月	2～4月	5～7月
節水活動		水を出しっぱなしにしない	福島	実行	実行	実行	実行

(現場)

4. 二酸化炭素総排出量の削減

取組目標		活動項目	責任者	活動計画			
				8～10月	11～1月	2～4月	5～7月
1	電力使用量の削減	1 エアコンの設定温度を決め、実行する	池田	実行	実行	実行	実行
		2 無人室の消灯	池田	実行	実行	実行	実行
		3 不要電力消費抑制	池田	実行	実行	実行	実行

5. 産業廃棄物排出量の削減

取組目標		活動項目	責任者	活動計画			
				8～10月	11～1月	2～4月	5～7月
発注管理の徹底		1 適正発注によるゴミの抑制	池田	実行	実行	実行	実行
		2 適性分別を行い、リサイクル化に努める	池田	実行	実行	実行	実行

6. 産業廃棄物のリサイクル率向上

取組目標		活動項目	責任者	活動計画			
				8～10月	11～1月	2～4月	5～7月
分類の徹底		産業廃棄物を種類毎に分類保管し、適切に処理・処分	池田	実行	実行	実行	実行

7. 安全作業の実施

取組目標		活動項目	責任者	活動計画			
				8～10月	11～1月	2～4月	5～7月
報連相・5Sの徹底		報告・連絡・相談の徹底及び5S活動を推進する	池田	実行	実行	実行	実行

8. 節水に配慮する

取組目標		活動項目	責任者	活動計画			
				8～10月	11～1月	2～4月	5～7月
節水活動		水の節約の徹底をする	池田	実行	実行	実行	実行

9. 環境に配慮した設計の実施

取組目標		活動項目	責任者	活動計画			
				8～10月	11～1月	2～4月	5～7月
環境配慮設計の提案		環境に配慮した設計を提案し、実施する	社長	実行	実行	実行	実行

10. 環境に配慮した施工の実施

取組目標		活動項目	責任者	活動計画			
				8～10月	11～1月	2～4月	5～7月
環境配慮施工の提案		環境に配慮した施工を提案し、実施する	池田	実行	実行	実行	実行

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

- ・当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありません。
尚、関係当局よりの違反等の指摘はありません。

法律名	判定
建設リサイクル法	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	○
騒音規制法	○
振動規制法	○
フロン排出抑制法	○

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

- 1, 今年度も、環境に配慮し、省エネを心掛け、安全に作業することで、社員全員が積極的に活動に取り組むことができた。
- 2, 日々の努力により事務所の電力使用量と軽油の使用量は猛暑の中においては、比較的抑えることができた。二酸化炭素排出量は目標値を達成するために、数人での車の乗り合わせをするなどしてガソリンの使用量を減らすべく、今後も無駄をなくす取り組みを続けていきたい。
- 3, 大規模な改修工事や撤去工事が引き続き多かったが、現場の電力使用量、産業廃棄物総排出量もできるだけ抑える努力をした。分別回収の徹底によってリサイクル率を非常に高くできたことは評価できる点であり、今後も継続して取り組んでいきたい。
- 4, 2023年度に計画し建設をはじめた、最新の全館空調システムと太陽光発電・蓄電システムを使用したエコ住宅「菜のハウス」が完成した。菜のハウスを普及させ、菜のハウスで培った知見を活かしたエコ住宅の建設は、少しずつ増えている。
- 5, 工事においては仕入れる材料の数量を設計や工事において確実に把握することで、無駄をなくし温室効果ガスの削減に貢献している。
- 6, 現場における水の使用量は、工種や熱中症対策によって増減するが、それとは別に通常の手洗い等においては全員に節水を呼びかけ、「節水」の張り紙をする等して節水意識を高めていく。